

CSRの取り組み

「CSRのしがぎん」、地球環境・生物多様性を守り、未来へ引き継ぎます。

「企業も社会の一員である」との認識に立ち、「社会の持続可能な発展」を目指してCSR(企業の社会的責任)の追求に全行あげて取り組んでいます。

具体的には、平成19年制定の「CSR憲章(経営理念)」に掲げる“地域社会との共存共栄”“役職員との共存共栄”“地球環境との共存共栄”の実現に向けて、「環境」「福祉」「文化」を3本柱に多面的な取り組みをしています(CSR活動の詳細については、別途発行しております「CSRレポート」をご覧ください)。

「エコ・ファースト企業」



琵琶湖畔に本拠を置く企業として、経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと、金融商品・サービスの提供など環境保全を金融面から促進する「環境金融」に取り組んでいます。

これまでの環境保全活動が広く認められ、平成20年7月、**金融業界初の「エコ・ファースト企業」**として、環境省から認定を受けました。金融の役割を通じて持続可能な社会づくりに貢献するとの使命を持ち、環境に配慮したお金の流れの拡大に向けて、お客さま・地域の皆さま・役職員とともに環境保全に努めます。



1



2



3

- 1 湖北エリアのCSR活動の取り組みとして「伊吹スキ祭りボランティア」に役職員75名が参加
- 2 びわこ地球市民の森の「森づくりサポート活動」に役職員1,100名がボランティアとして参加
- 3 今年で4回目となる「外来魚駆除・釣りボランティア」に520名が参加。ブルーギル2,507匹を駆除

「平成24年版 環境白書」に掲載

環境省発行の「平成24年版 環境白書」に当行の琵琶湖の環境と生態系保全の「いきものがたり活動」が掲載され、ストーリー性を持った活動内容が高く評価されました。

また、これまで個別に行ってきた「いきものがたり活動」を創立80周年記念事業として「いきものがたりプロジェクト」に一本化。100周年に向けて、更に持続性と発展性、またストーリー性のある活動として展開していきます。



平成24年版
環境白書

いきものがたりプロジェクトの一例

- しがぎん福祉基金助成金贈呈式
- 新入行員植樹
- 外来魚駆除・釣りボランティア
- 学校ビオトープ助成活動
- ニゴロブナ・ワタカの保護・育成・放流
- 琵琶湖一斉清掃
- 森づくりサポート活動
- びわ湖環境ビジネスメッセ出展
- 小さな親切運動の一環として車椅子を贈呈
- ススキ刈り
- ヨシ苗植え
- ヨシ群落保全活動
- チャリティーカレンダー市へ参加
- ニゴロブナ・ワタカの放流式
- ビワマス遡上プロジェクト

節電の取り組み

電力供給不足を回避するため、夏季と冬季、節電に取り組んでいます。平成25年度夏季は、5月1日から10月30日まで行います。取組内容は、①全役職員による「しがぎんエコスタイル」②営業室の照明は原則25%削減・廊下、会議室、食堂などの照明は原則50%削減③夏季の室内温度は原則28℃に設定④パソコンの輝度を40%に設定、離席時は電源オフ、またはスタンバイ設定など実施しています。

なお、平成24年度は電力使用量を前年比8.1%、平成22年比16.7%削減しました。

環境配慮型店舗「高島支店」新築オープン

平成24年11月19日、「高島支店」を新築オープンしました。新店舗は、歴史と文化に育まれた城下町の面影が残る高島市の伝統的な景観に配慮し、勾配屋根の連なる商家の佇まいをイメージするとともに、「太陽光発電」や「ソーラー街路灯」を採用するなど、「クリーンバンクしがぎん」として環境設備の充実を図っています。



屋根に太陽光パネルを設置した高島支店